



**ニコニコ笑顔！
桜並木で咲き誇る**

～認定こども園 園外保育～



施政方針(要旨)

現在、わが国では急速な少子高齢化の進行に対応し、地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたり活力ある社会を維持していくことが、緊急の課題となっています。

そのため、国では、「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、まち・ひと・しごと創生本部を設置することにより、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施しています。

また、経済再生を通じて、地域経済にも好循環が拡大すると期待されていますが、自治体経営においては、以前にも増して難しい時代となり、より一層の自助努力や新たな行政システムの構築が必要となっています。

本町においても、少子化による人口減少や高齢化に伴い、ライフスタイルが多様化しており、住民ニーズも複雑・高度化しています。

このような行政課題に対応するために、開かれた町政の推進や住民の負託に応える職員の資質向上に努めてまいります。

また、本町の財政状況は、依存財源比率が高く、国等の動向に左右されやすい状況にあるため、不測の事態にも柔軟に対応できるよう財政調整基金等の充実を図りながら、住民

の安全・安心を担保する町政運営に努めることが肝要であると考えています。

そのようななかで、現在、第5次南伊豆町総合計画に基づき「次世代につなぐ 光と水と緑に輝く南伊豆町～ひとにやさしく 自然にやさしく 未来につなぐまちづくり～」を推進していくため、職員一丸となって取り組んでいるところであり、この取組みをさらに前進させるために「町民の町民による町民のための町政」を行政手法として「町民参加及び協働の推進に関する条例」などの例規整備や「いつでもどこでもミニ集会」等を今後も開催することにより、町民の皆様の意見を集約し、町政に反映してまいります。

また「まち・ひと・しごと創生法」が制定されたことに伴い、町民参加の手法を用いて町における人口の現状及び将来の展望を提示する人口ビジョンを策定し、今後5か年の目標や施策の基本的方向性や具体的な施策を取りまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略（地方版総合戦略）」を平成27年度に策定してまいります。

今後、第5次南伊豆町総合計画や地方版総合戦略に基づき、地域を経営するという発想のもと、地域力を強化し、持続可能な町づくりを推進したいと考えています。

具体的な施策といたしましては

1 石廊崎ジャングルパーク跡地等の観光開発

これまで千葉大学園芸学研究所の木下教授の指導のもと、公募によるワークショップを開催し、並行して石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画審議会に諮問し、審議を重ねていただいております。3月にはワークショップから提案された利用計画案について、審議のうえ答申をいただくこととなります。

平成27年度からは、答申された利用計画をもとに関係機関と協議し、利用計画の実現に向け尽力してまいりますと考えています。

2 東京都杉並区との自治体間連携による特別養護老人ホーム整備

平成23年度から東京都杉並区、静岡県、南伊豆町三者で進めてまいりました特別養護老人ホームの整備については、平成25年度には厚生労働省の「都市部の高齢化対策に関する検討会」において、自治体間連携に基づく事例として一定の評価を得られました。

また、国に要望してまいりました法改正について、要望に沿った法改正の動きがみられたこと、当整備に係る厚生労働省の基本指針が示されたことなどから、12月11日静岡県庁において、大森彌東京大学名誉教授に御出席いただき、三者による自治体間連携による特別養護老人ホーム整備に係る基本合意書締結式が挙行されました。

同日、静岡県庁での基本合意書締結式終了後、会場を本町の議場に移し、関係団体の代表にも参加いただき当該整備に関する報告会を行うことができ、大きく前進したものと考えています。

また、当該整備計画を杉並区及び南伊豆町並びに静岡県及び東京都における介護保険事業支援計画に反映する必要があることから本町におきましても、当該施設整備、入所ニーズ量を見込んだ、平成27年度から平

成29年度の3年を期間とする第6期介護保険事業計画を作成しています。

計画では、施設整備運営法人の公募選定などが予定されておりますが、介護人材の確保や、医療体制の整備などの課題があることを認識しつつ、静岡県、御支援をいただき、杉並区と協力し、全国初の取組みとしての施設整備に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御支援、御協力をお願い申し上げます。

3 健康福祉センターの整備

平成26年度、健康福祉センター建設ワークショップを開催し、機能、整備方法について提案をいただきました。

また、町の付属機関として健康福祉センター建設検討委員会を立ち上げ「南伊豆町健康福祉センターの整備に関する提言書」をまとめていただき、建設地は旧中央公民館跡地とし、整備方法は特別養護老人ホームとの合築によることが適当であると判断し、地区懇談会において町民の皆様へ報告してまいりました。

平成29年度の開所を目指し、平成27年度は、健康福祉センターの実施設設計まで行ってまいりますが、健康福祉センター建設検討委員会に諮りながら、静岡県、杉並区とも協議し、本町の保健福祉行政の更なる充実を図る拠点施設となるよう鋭意努力してまいりますので、皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

4 地熱資源の活用＝再生可能エネルギー

町では、経済産業省の平成26年度地熱開発理解促進関連事業支援補助金及び独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(通称JOGMEC)の平成26年度地熱資源開発調査事業費補助金を活用して、地熱資源活用によるまちづくりを進めています。

地熱資源開発調査による地表調査の結果、本町の地熱構造は複雑で未知の部分が多く、さらなる解析と実際の掘削調査の必要性が示されました。

そのため、平成27年度においても、

地熱開発理解促進関連事業支援補助金を活用し、町民の理解の深化に努めるとともに、地熱資源開発調査事業費助成金を活用した掘削調査により、下賀茂温泉の地熱構造の解明を図り、新たな産業や雇用の創出等を目指し、最終的には熱電併給等によるスマートコミュニティ・スマートタウンの建設を目指してまいりたいと考えています。

5 ワークステイ＝夢を語りあうことのできる町

本町では、移住者増加策として移住セミナーや空き家バンク等に加えて、国の地方創生交付金を活用して「空き家バンクリフォーム補助金」「空き家バンク発掘事業」「空き家を借上げお試し移住を推進するための事業」を計画しています。

町では、本町の自然豊かな地域性を生かして、アクティブシニア層に5年間程度移住していただくワークステイ構想を掲げ、移住促進につなげていく手法を検討しています。

ワークステイ構想は、定期借家制度により、アクティブシニア層が代償する移住形態であり、今後、東京都杉並区とも連携しながらこの手法を推進していきたくと考えています。

6 観光振興

「みなみの桜と菜の花まつり」は、早春南伊豆の風物詩として定着し、また、昨年弓ヶ浜海水浴場に開設した「弓ヶ浜スプラッシュウォーターパーク」は、近年にない多くの来訪者数を記録しました。

平成27年度におきましても、さまざまなイベントを展開し、インバウンド事業を含めて観光協会と連携を図りながら観光の活性化に努めてまいります。あわせて「町営温泉銀の湯会館」のリニューアル工事を行い、日帰り温泉施設の機能充実を図ります。

7 防災対策

引き続き防災訓練等により、防災・減災意識の高揚を図るとともに、備蓄食料の追加配備や自主防災事業補助金を活用した避難地・避難路・

防災資機材の整備を継続して実施してまいります。

避難所整備の面では、学校等の施設に非常用電源切替装置を設置し、三坂幼稚園及び差田保育所跡地を活用した避難所機能や備蓄倉庫を備える防災拠点施設の設計に着手し、避難所施設の拡充及び災害時における食料、飲料水、資機材の備蓄場所の確保を進めてまいります。

このほか、同報系のデジタル化について調査検討を進めてまいります。

今後とも現状に即した防災・減災対策について、実施可能な対策を積極的に推進してまいります。

8 町制施行60周年記念事業

昭和30年7月31日に誕生した南伊豆町は、平成27年に町制施行60周年の節目を迎えます。

そこで、これまでの南伊豆町を振り返り、先人の苦労や業績に感謝するとともに、ホームページやSNSの活用により本町の素晴らしさや魅力を発信することで、町民の皆様へ、より一層愛着を深めていただくとともに、町外の方へは認知度、好感度を高め、更なる活性化につなげていきたいと考えています。

9 その他

平成26年1月16日に一條・稲梓線道路建設期成同盟会の設立総会を開催し、本年2月19日には、下田市長、賀茂政策局長、下田土木事務所長、賀茂農林事務所長に出席していただき、一條・稲梓線道路建設研究会を開催し、現地視察等も行いました。今後も研究会、勉強会を開催し、町民の皆様と共に、国や県に事業の実現に向けて強力で訴えていきたいと思っております。

また、鳥獣被害対策、里山の整備等の政策課題の解決に真摯に取り組み、町の活性化に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

予算編成方針

政府は今年1月14日の閣議において、経済の好循環の拡大、地方再生等による経済再生と財政健全化の両立を目指すとともに、社会保障、税制改革の実現に向けた、総額96兆円を超える平成27年度予算を閣議決定しました。

また、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策として、補正予算3兆5,289億円を加えた平成26年度の予算規模は、100兆円を超えるものとなりました。

また、静岡県は平成27年度予算案において「富国有徳の理想郷“ふじのくに”」の早期実現を目指し「後期アクションプラン」を着実に推進すると発表しています。

同予算案は、地震・津波対策、雇用・新成長産業育成の実施、少子化対策の充実など8項目の施策・事業を重点に展開することとし、2年連続増となる平成27年度一般会計の予算規模は1兆2,397億円で、前年度比5.0%の増となっています。

このような状況下、本町の財政状況は、主要産業である観光業等の不振が続く、税収の伸びが期待できない状態です。

加えて、歳入の7割近くを依存財源で占める本町は、補助金などの制度改正等の影響を受けやすい体質となっており、財政状況は依然として厳しい状況に変わりありません。

このため、国・県の動向に十分留意し、情報収集に努めるとともに、将来を見据えた財政運営が求められます。

一般会計の歳入では、町税等の減はありますが、地熱関連事業、銀の湯会館改修事業等により、国県支出金及び町債等は大幅な増となり、全体では前年度の約30%を超える歳入を見込んでいます。

また、施設等の整備や増加を続ける社会保障費等による財源不足を補うため、財政調整基金から2億2,194万2,000円の繰入れを行うとともに、道路改良等の普通建設事業や銀の湯会館改修事業等に充当する町債の総額は5億110万円に上ります。

そのような中、自主財源である町

税の確保は、最重要課題であることから、コンビニ収納やインターネット公売などにより一層の徴収強化に努めてまいる考えです。

平成27年度の予算編成にあたりましては、第5次南伊豆町総合計画の基本理念及び将来像を具現化すべく、

- 1 安心・元気・温かさがあふれるまちづくり
- 2 優美な自然を生かした観光と交流のまちづくり
- 3 地域・自然の恩恵を生かしたまちづくり
- 4 地域を担う人づくりと町の歴史・文化を継承するまちづくり
- 5 人、町、自然が共生する快適でぬくもりのあるまちづくり

の5つの基本目標と

「自らが創り、守る南伊豆の未来」の共通目標

以上、6項目の重点目標を掲げて予算編成を行いました。

特に、石廊崎の再生、健康福祉センターの建設、地熱資源開発事業及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定などを最重点項目として進めたいと考え、石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画策定審議会報酬、地熱資源利活用検討委員会報酬及びまち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会委員報酬などを計上しました。

平成27年度の一般会計、11特別会計及び水道事業会計の予算総額は、前年度対比21.6%増の96億5,133万4千円となりました。

行政報告(要旨)

1 東京都杉並区との自治体間連携による特別養護老人ホームの整備

(1) 静岡県、東京都杉並区及び南伊豆町三者による基本合意書締結式

昨年12月11日、静岡県庁において、川勝平太静岡県知事、田中良杉並区長と私、また杉並区、本町の議会議長にも同席していただき、さらに立会人として、厚生労働省の「都市部の高齢化対策に対する検討会」で座長を務められた大森彌東京大学名誉教授にも御出席いただき、全国初の自治体間連携による特別養護老

人ホーム整備に係る基本合意書の締結を行いました。

これからも、平成29年度の特別養護老人ホームの開所に向け、静岡県、杉並区、当町の三者で協議を進めてまいりますので、町民の皆様の御支援、御協力をお願いいたします。

(2) 自治体間連携による特別養護老人ホームの整備に関する報告会

静岡県庁での基本合意書締結式終了後、本町の議場にて、自治体間連携による特別養護老人ホームに関する報告会を行いました。

報告会では、本事業への両区町での取り組みに関する経過報告を行い、続いて大森彌名誉教授に「地方と都市部の自治体間連携と地方創生について」と題して御講演をお願いいたしました。

意見交換の場では、御参加いただいた皆様からそれぞれの立場で御意見、御提案をいただきました。

今後、静岡県の支援を得ながら、杉並区と協力し、介護が必要な人に適切なサービスが提供できる施設整備、体制づくりに努めてまいります。

(3) 自治体間連携による杉並区との職員相互派遣

平成24年9月には、杉並区と災害時相互援助に関する協定を締結し、災害時の応急対策や復旧対策に必要な物資等を速やかに援助する体制を整えました。さらに民間レベルでは、杉並フェスタ等の観光交流イベントへ積極的に参加し、人の流れを実現しています。

このような中、平成27年度から自治体間連携をさらに強固なものとするため、職員の相互派遣を進めてまいります。

2 地熱資源の活用

現在、町では、地熱資源を活かしたまちづくりを進めるため、経済産業省の平成26年度地熱開発理解促進関連事業支援補助金及びJOGMECの平成26年度地熱資源開発調査事業費助成金による事業を実施しています。

地熱開発理解促進関連事業では、温泉、福祉、農林業、漁業関係者によるワーキング、有識者を招いての勉強会、先進地視察、アンケート調査、

地熱通信による広報等を行うとともに、地熱資源開発調査事業では、文献調査、反射法地震探査等地表調査、温泉モニタリング等を実施してまいりました。

調査受託業者からの報告では、「総合解析の結果、高温熱水は加納地区の地下深部から、高透水性の断層群を通過して深度200m付近まで上昇したのち、温泉帯水層を形成して、深度200m付近から雨水と混合しつつ東側に側方流動することが推定される。」ことなどが報告されました。

しかし、より詳細な資源解明のためには、掘削による地下調査の必要性が示されました。そのため、町では、平成27年度において、経済産業省の地熱開発理解促進関連事業支援補助金の活用とともに温泉関係者の同意を得て、JOGMECの地熱資源開発調査事業費助成金を活用して温泉の湧出や蒸気の噴出を行わない構造試験掘削調査を進めてまいりたいと考えています。

3 石廊崎ジャングルパーク跡地の利用計画

町では、石廊崎ジャングルパーク跡地の利用計画を策定するため、相互協力協定を締結している千葉大学に委託し、千葉大学園芸学研究科大学院の学生と町職員をファシリテーターとし、公募による12名を含めた24名により9月から2月までの間にワークショップを7回開催し、2月には、まとまった利用計画案の報告を受けました。

一方、石廊崎ジャングルパーク跡地利用計画審議会では、平成27年1月に第2回審議会を開催し、ワークショップでの中間報告を受け、審議していただきました。

3月開催予定の第3回審議会では、ワークショップのメンバーから提案された利用計画について審議のうえ答申をいただく予定です。

今後は、答申された利用計画をもとに、関係機関と協議し、石廊崎地区を自然を生かした観光のメッカとして再生させるため、尽力してまいりたいと考えています。

4 防災対策

町民の安全・安心を確保するため、静岡県総合防災訓練の他、様々な事業を展開しました。

静岡県総合防災訓練では、南海トラフ巨大地震が発生し、賀茂地域全体が孤立した想定の下、概ね72時間以内に実施する災害応急対策について実働訓練を行い「自助」・「共助」による地域防災力の強化、空路・海路の活用による「公助」の体制確認を実施いたしました。

今後も、「自助、共助、公助」を合言葉に、一人ひとりが主体的に行動することにより地域や町を挙げて、災害に強い安全・安心のまちづくりを引き続き推進してまいります。

5 イベントの開催状況

(1) 第17回みなみの桜と菜の花まつり
「第17回みなみの桜と菜の花まつり」につきましては、今回から開始日を2月10日に変更し3月10日までの間、道の駅「下賀茂温泉湯の花」をメイン会場に開催されています。

2月15日には菜の花まつりのイベントの一つである菜の花結婚式が執り行われました。

また、皆様大変好評をいただいております「夜桜☆流れ星」は、3月1日から7日までの7日間予定され、運営にあたっては多くのボランティア「夜桜サポーターズ」の皆様のお力を借りて開催されます。期間中は、交通の混雑及びそれに伴う規制等について、町民の皆様には御理解と御協力をお願いいたします。

(2) 第2回 南伊豆・下賀茂温泉夜桜マラソン

2月21日、青野川河川敷をコースとして「第2回南伊豆・下賀茂温泉夜桜マラソン」が開催され、当日は

関東圏を中心に556人の選手が5km、10km、20kmの各部門において、コースを駆け抜けました。

6 重点「道の駅」への選定について

国土交通省では、全国の「道の駅」の動きを応援するため、平成26年8月に重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を重点支援する取り組みを始めました。

全国1,040か所の「道の駅」のうち「下賀茂温泉湯の花」を含む「伊豆道の駅ネットワーク」は、重点「道の駅」として選定されました。

今後も、伊豆半島内にある8か所の「道の駅」のネットワークをより強化し、外国人対応などを各駅が連携して機能補完していくことにより、伊豆半島圏域の周遊観光を促進し、観光競争能力の強化を図ってまいります。

7 観光客等入込み状況について

宿泊施設につきましては、民宿は前年度を上回りましたが、旅館・ホテル等は前年度割れとなりました。

観光施設については、9月に一部施設が閉園した影響もあり、入込数が減少しました。

8 地域おこし協力隊

総務省が創設した「地域おこし協力隊」の隊員を、本年度から三浜地区の妻良と子浦に一人ずつ配置し、最長3年間、地域活性化・まちおこしを目的とした活動を展開しています。

来年度は、それぞれの隊員が、観光資源を活用した自然ガイドトレッキングツアーや空き家を活用した、簡易宿泊施設・ゲストハウスの運営を開始し、誘客活動を行うことを考えています。

観光施設等の入込状況(4月~12月)

区 分	平成26年(人)	平成25年(人)	前年度比(%)
宿泊施設	158,396	160,942	98.42
観光施設	100,526	105,606	95.19
温泉施設	83,219	82,040	101.44
合 計	342,141	348,588	98.15

こうした活動は、今後策定する地方版総合戦略との連携により地域の活性化につながっていくことを期待していますので、三浜地区の方のもとより町民皆様のより一層の御支援、御協力をお願いします。

9 吉祥町有地の利活用

平成20年3月に伊豆急不動産株式会社から寄附を受けた吉祥町有地については、土地の一部を体験農園として活用し、残りの土地はメガソーラーの候補地など種々検討してまいりましたが、利用方法が定まっていませんでした。

そこで、本年度、公募を含めた26人のメンバーと5人の町職員をファシリテーターとしワークショップを5

回にわたり開催し協議検討を重ね、昨年12月には「利用計画提言書」として提出していただきました。

提言書は、グループごとに南伊豆遊涌パーク、町民の森公園、里山プレイパーク構想、社会復帰促進センター誘致の4つの提言がされ、いずれも吉祥地区の豊かな自然を生かしつつ、誘客、雇用の創出、地域活性化等を踏まえた魅力的な提言でした。

今後、庁内会議等で検討を加え、可能なことから実施してまいりたいと考えます。

10 美しい伊豆創造センターについて

伊豆半島7市6町首長会議では、平成25年4月に策定した伊豆半島ランドデザインで提唱された「新し

い推進組織」の設立について検討を重ねてまいりました。

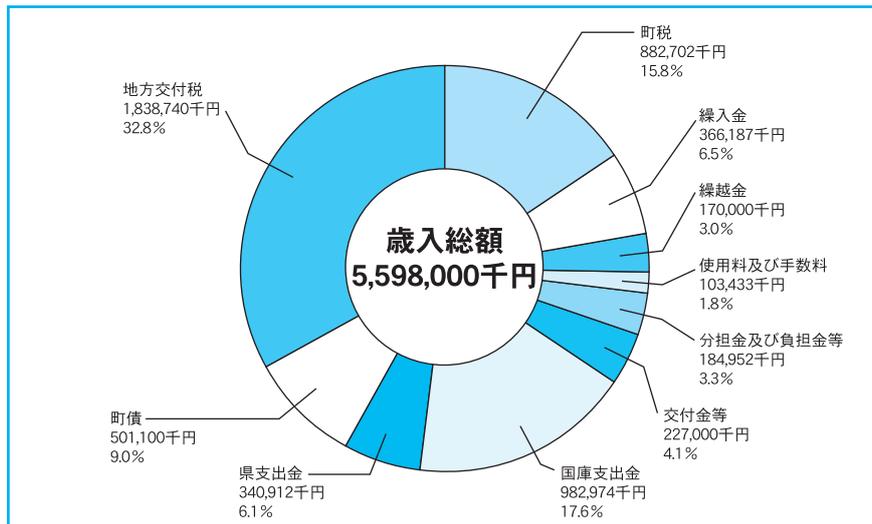
検討に当たっては、各市町の担当部課長による観光部会と道路部会による準備会を立ち上げ、既存組織の見直しを実施しました。

準備会からの提案を踏まえ、平成27年4月から各市町から職員を派遣して「新しい推進組織」を立ち上げることとし、名称については、「美しい伊豆創造センター」となりました。

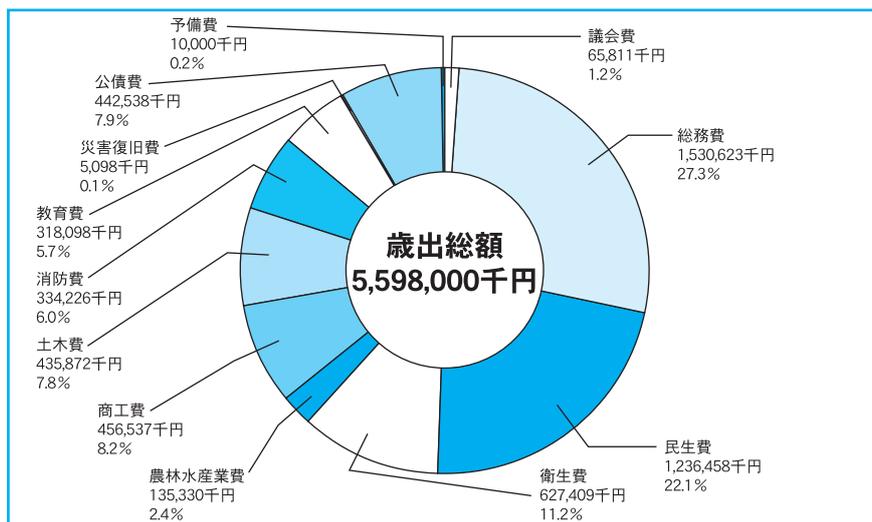
来年度から、世界に誇れる伊豆半島の活性化に向けて、伊豆半島7市6町が一体となって観光施策を中心に各種活動を展開していくこととなりますので、皆様方の御支援、御協力のほどよろしく申し上げます。

平成27年度 一般会計予算

[歳入]



[歳出]



南伊豆町国民健康保険加入者の皆様へ

人間ドックの助成事業を開始します

南伊豆町国民健康保険では、被保険者の健康の保持増進ならびに疾病の予防、早期発見および早期治療の推進を図るため、人間ドックの検査費用の一部助成を今年度から開始します。

対象者

- ・ 人間ドックを受診する日において、年齢が40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者
 - ・ 申請日以前に、南伊豆町国民健康保険に継続して1年以上加入していること
 - ・ 国民健康保険税の滞納がない世帯の人
 - ・ 人間ドックの受診結果を南伊豆町が行う保健事業に活用することに同意される人
- ※特定健診の受診者または受診希望者は、対象となりません。

助成金額

- ・ 検査費用の7割相当額（1,000円未満切り捨て）
ただし、上限額は25,000円です。
- ※助成を受けられるのは、同年度内に1回限りです。

4、5月に人間ドックを受ける予定の国民健康保険被保険者の方は、早急にご連絡ください。

受診医療機関

- ・ 静岡県内の人間ドックを実施できる医療機関

申請方法

- ・ 人間ドックを受診する2週間前を目安に、健康福祉課で事前申請をしてください。
申請書に受診予定の医療機関名を記入していただき、審査後に人間ドック受診券を交付します。



持ち物

- ・ 国民健康保険証、印鑑

問合せ 健康福祉課 国民健康保険係 ☎62-6233

住まいづくり助成制度

と う か い ぜ ろ TOUKAI-0 事業

■木造住宅の耐震事業

予想される東海地震から一人でも多くの生命を守るため、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅を対象に無料耐震診断を実施します。また、診断を受けられて耐震化の計画を作成された方や工事を実施された方については、その費用の一部を助成します。

●無料の耐震診断

町が派遣する専門家(耐震補強相談士)により無料の耐震診断を受けることができます。

申込み方法

電話または担当窓口へ

●補強計画の作成

倒壊の可能性があるとして診断されて補強工事を希望する場合は耐震補強計画が必要です。

作成方法

耐震診断補強相談士等に依頼して作成

補助金額

補助対象経費の $\frac{2}{3}$ (上限9万6千円)

※補強計画の作成、補強工事については事前に申請をしなければ補助金を受けることができません。



●耐震補強工事

補強計画に基づき補強工事を実施してください。

補助金額

1棟50万円(ただし、65歳以上のみで構成される世帯、1級または2級の身体障害者手帳の交付を受けた者が居住する世帯等は1棟70万円)

■ブロック塀等の耐震改修事業

基礎や鉄筋のないブロック、積み重ねただけの石塀は地震時に倒れる可能性があり非常に危険です。町では、ブロック塀や石塀等を撤去または改善された方に、その費用の一部を助成します。

●撤去工事

対象

道路や避難地に面する危険なブロック塀など

補助金額

「塀の長さ×8,900円/m」と「撤去工事額」を比較し、少ない方の $\frac{1}{2}$ 以内の額(上限10万円)



●改善工事

対象

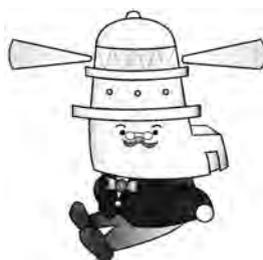
道路や避難地に面する危険なブロック塀など

補助金額

「塀の長さ×38,400円/m」と「改善工事額」を比較し、少ない方の $\frac{1}{2}$ 以内の額(上限25万円)

補助要件

塀やフェンスなどを新しく安全なものにすること



各事業、着手前に申請が必要です。

南伊豆町宣伝部長
「いろっ男爵」

住宅リフォーム振興事業

事前に資格登録を受けた町内施工業者で住宅の増築・改築・修繕工事を行う町民に対して、その費用の一部を助成します。

● 対象住宅

- ・ 町内に存する住宅であること。
- ・ 建築基準法を遵守した住宅であること。

● 対象者

- ・ 改修工事を行う住宅の所有者および同一世帯に属する者全員が町税等を滞納していないこと。
- ・ 南伊豆町に1年以上住所を有する者。
- ・ 改修工事を行う住宅の所有者であって、かつ、当該住宅に現に居住している者。

● 補助金額

改修工事の費用から消費税および地方消費税を除いた額が、100万円以上の場合には20万円、10万円以上100万円未満の場合は工事費の20%を補助する(補助金額に千円未満の端数がある場合は切り捨てる)。

● 対象工事

- ・ 改修工事の費用が消費税および地方消費税を除き10万円以上のもの。
 - ・ 資格登録を受けた町内施工業者が自ら行う工事。
 - ・ 平成28年3月10日までに工事が終了して完了報告が提出できる工事。
- ※併用住宅は個人住宅部分を補助対象とし、賃貸住宅は補助対象外とする。と う か い ぜ ろ
- ※改修工事で他の補助金(T O U K A I - 0 事業、介護保険住宅改修など)を受けている場合は、その額は補助対象としない(住宅エコポイントを含む)。

● その他

- ・ 町内施工業者の資格登録は随時受け付けています。
- ・ 工事種類によっては、対象にならない場合があります。

木造住宅建築等助成事業

再生可能な資源である木材を使用した住宅建設を促進し、定住環境の充実と地域経済の振興を図るため、町内に木造住宅を新築または増築する方に対して、その費用の一部を助成します。

● 対象住宅

- ・ 平成27年4月1日以降に、町内建築業者と木造住宅の新築・増築工事の請負契約を締結し、平成28年12月31日までに竣工するもの。

● 対象者

- ・ 町税等を滞納していない者。
- ・ 町税を口座振替で納付している者。

● 補助金額

- ・ 新築の場合
納税すべき固定資産税相当額の全額
(15万円/年を限度)
 - ・ 増築の場合
納税すべき固定資産税相当額の1/2の額
(10万円/年を限度)
- ※補助期間は最初の賦課年度から3年間となります。

● 交付方法

固定資産税の賦課額確定後、税の口座振替先を利用して補助金を交付します。

● その他

- ・ 改築(リフォーム)は対象になりません。
- ・ 町内建築業者とは、町内に本社または本店がある法人、または町に納税申告している個人事業主。
- ・ 木造住宅とは、主要構造部が木材で建築された専用住宅(店舗などの併用住宅の場合は、居住用部分のみ対象となります)。
- ・ 竣工したものは、翌年度に固定資産税が賦課されたもの。

※固定資産税の支払いを免除するものではありません。

アスベスト対策に関する助成制度等も整備していますので、お問い合わせください。

問合せ 建設課 ☎62-6277

空き家をリフォームして活用しませんか？

町では、急速に進む人口減少に歯止めをかけ、積極的な町内居住を推進するため、南伊豆町における空き家の有効活用を通じて、移住・定住促進による地域の活性化を図っています。

今年度、南伊豆町「空き家バンク」登録物件利用促進のため、事前に資格登録を受けた町内施工業者(※)による住宅改修、不要家財の処分を行う空き家所有者、空き家賃借者または購入者に対して、その費用の一部を補助する制度を実施します。

※事前に資格登録を受けた町内施工業者とは、南伊豆町住宅リフォーム振興事業補助金交付要綱(平成22年要綱第19号)第15条に基づく南伊豆町住宅リフォーム振興事業工事施工業者の資格を有する者をいいます。



●対象住宅

- ・町内に存在する住宅であること。
- ・「南伊豆町空き家バンク」へ登録し、登録日より3年間登録可能である空き家であること。
- ・過去に住宅補助制度を利用して改修、家財処分を行った空き家でないこと。

●補助金額

- ・改修補助
補助対象経費の1/2 (補助上限100万円)
- ・家財処分補助
補助対象経費の4/5 (補助上限20万円)

●対象者

- ・改修、家財処分を行う住宅の所有者、空き家賃借者または購入者。
- ・町税等を滞納していないこと。

●対象工事

- ・資格登録を受けた町内施工業者が自ら行う工事。
- ・この補助金に係る改修に関して国、県又は町の制度による他の補助金等を受けていない工事。

●その他

- ・予算額は700万円と限りがありますので、ご了承ください。



南伊豆町宣伝部長
「いろいろ男爵」

町内の空き家物件を募集しています。
「売りたい・貸したい」という所有者の方は、お気軽にご連絡ください。

問合せ 企画調整課 ☎62-6288

3 / 1 観光客にも大好評！



地場産品販売の様子

第3回軽トラ市が役場駐車場で開催されました。会場では椎茸や苺などの地場産品の販売や、よさこいのグループ「翔華組」による華やかな踊りが披露され、多くの人で賑わっていました。

3 / 9 おいしく育ててね



ひとつひとつ丁寧に種芋を植える子どもたち

南崎保育所、認定こども園4歳児によるじゃがいも栽培体験が吉祥で行われました。自分たちの手で土を掘り起こし、種芋を丁寧に植えつくと、満足げにほほえんでいました。

3 / 10 社会福祉貢献活動



ヤクルトレディーから目録を受けとる梅本町長

社会福祉貢献活動として、東静岡ヤクルト販売株式会社から町内の社会福祉施設4施設へ、1,060本のヤクルト商品が寄贈されました。目録が贈呈されると町長は、「毎年感謝しています」とお礼を述べました。

3 / 15 日頃の成果をお披露目



華麗に舞う出演者たち

第20回南伊豆町芸能部門発表会が役場湯けむりホールで行われました。コーラスやフラダンスなど、文化協会加盟17団体が、日頃の練習の成果を披露し、観客を魅了していました。

県耕作放棄地再生活動表彰を受賞

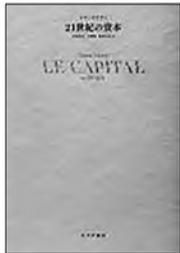
下小野の農業生産法人アグリビジネスリーディングが、本年度の県耕作放棄地再生活動表彰で優良賞を受賞しました。同賞は約2年以上にわたり、耕作放棄地対策に積極的に取り組んできた組織や農業者に贈られるもので、田植えや稲刈りイベントの開催、地元の体験ツアーと連携してのグリーンツーリズムなど、積極的な耕作放棄地再生活動が評価されました。



町長に受賞を報告する中村社長

今月のおすすめ

— 新着図書案内 —



「21世紀の資本」
ピケティ・トマ著/みずす書房
資本収益率が算出と所得の成長率を上回るとき、資本主義は自動的に、恣意的で持続不可能な格差を生み出す。格差をめぐる議論に大変革をもたらす。



「小さな異邦人」
連城三紀彦著/文芸春秋
8人の子供と母親からなる家族へかかってきた1本の脅迫電話。「子供の命は預かった。3千万円を用意しろ」だが、家には子供全員が揃っていた。



「チャイナハラメント」
松原邦久著/新潮社
改革開放以来30年の変遷を見てきたスズキの元中国代表が、中国人ビジネスマンの頭の中と共産党の思考回路を徹底解説。



「悲嘆の門(上下)」
宮部みゆき著/毎日新聞社
ネットに溢れる殺人者の噂を追う大学生。「動くガーゴイル像」の謎に憑かれる元刑事。人の心に渴望が満ちる時、姿を現すものは？



「最貧困女子」
鈴木大介著/幻冬舎
働く単身女性の3分の1が年収114万円未満。中でも10~20代女性を「貧困女子」と呼んでいる。が、それ以上にもがき苦しむ女性たちがいる。



「晩鐘」
佐藤愛子著/文芸春秋
老作家・藤田杉のもとにある日届いた訃報。それは青春の日々を共に過ごし、十五年のあいだは夫であった畑中辰彦のものだった。



「捏造の科学者」
須田桃子著/文芸春秋
ips細胞を超える発見と喧伝する理研の記者会見に登壇したのは、若き女性科学者、小保方晴子。取材班に、疑問がひとつまたひとつ増えていく。



「四次元時計は狂わない」
立花隆著/文芸春秋
がんを患いながらも、飽くなき好奇心で精力的な取材を続けるジャーナリスト立花隆。74歳を迎えいま、氏は震災後の日本について何を思うか？



「インターネット・ゲーム依存症」
岡田尊司著/文芸春秋
覚せい剤並の強い依存症を持つデジタル機器。ゲーム・ネット中毒が脳の神経構造すら変化させる事実を、最新の研究データで報告する。



「ぼくは眠れない」
椎名誠著/新潮社
ガバッと起きると午前二時、それが不眠生活の幕開けだった。毎夜同じ時刻に目が覚めて、眠れないまま朝になる。三十五年間の孤独なタカカイ。

世界と闘う「読書術」	佐藤 優
神さまのおしやべり	さとうみつろ
二人のマンドラ	ジョン・カーリン
ぼくらの真実	青山 繁晴
反「ゆとり教育」奮戦記	芳沢 光雄
男の子の本当に響く叱り方ほめ方	小崎 恭弘
からだが変わる体幹ウォーキング	金哲彦
アートピーに朗報!	入野 和生
ベニシアの四季の詩	ベニシア・スクリュー・スミス
やくみつるの小言・大言	やくみつる
イノセント・デイズ	早見 和真
群青のとき	今井絵美子
オネステイ	石田 衣良
私が愛したサムライの娘	鳴神 饗一
孤独でも生きられる	曾野 綾子

図書館利用案内

初めてご利用の方

はじめて本を借りる時は登録者カード申込書を記入してください。利用者カードを発行します。(住所・氏名を確認できるものを持参してください)

借りるとき・返すとき

利用者カードを持ってカウンターへお越しください。貸出期間は3週間、貸出冊数は制限がありません。休館中・夜間の返却は、玄関脇のブックポストをご利用ください。続けて借りたい場合は延長もできます。(予約が無い場合のみ)

予約・リクエストについて

貸出中の資料を予約することができます。当館に無い場合はリクエスト用紙に記入し、カウンターへ出してください。出来る限りご希望にお応えします。

健康レシピ



かぼちゃのきんぴら



ここがポイント!

- ・少量のしょうゆでかぼちゃの甘みがアップします。

なずみかい
南豆味会（健康づくり食生活推進協議会）
問合せ 健康福祉課 ☎62-6233

▷ 材料 / 2人分 ◁

かぼちゃ・・・80g
にんじん・・・20g
ピーマン・・・10g

1人分エネルギー53kcal
塩分0.3g

サラダ油・・・小さじ2/3
酒・・・小さじ2/3
しょうゆ・・・小さじ2/3
白ごま・・・適量

▷ 作り方 ◁

- ①かぼちゃ、にんじん、ピーマンは千切りにする。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、にんじんをさっと炒め、かぼちゃを加え、酒を振り入れ蓋をし、かぼちゃに火が通ったらピーマンを加える。
- ③しょうゆで味を調べて、器に盛り付け、白ごまを振る。

毎月19日は食育の日！
～「いただきます」から始まる食卓～



松原

みなみいず探索記

地域おこし協力隊



田中

三浜でやろうじゃ!



皆様のご協力に感謝!!



「三浜でやろうじゃ!」というテーマで三浜地区の皆さんと色々なイベントを開催し、地域の活性化に繋がればと考え、第1回目として、2月に妻良の民宿のおばちゃん4人に先生となってもらい、地元の食材を使った料理教室を行いました。13人の参加者の中には男性や魚を捌いたことがない方、また役場の方も参加していただき、賑やかな料理教室となりました。民宿のおばちゃんの味付けや包丁捌きを見逃すまいと、皆さん真剣に話を聞いたり、質問したりと、あっという間に時間が過ぎていきました。調理が終わると、昼食の時間!自分たちが造ったお刺身や、おばちゃんのやさしい味付けの料

理に舌鼓を打ちながら、豪華な昼食を堪能しました。民宿のおばちゃん、漁協や妻良区の方々、そして町の皆さんの協力があったからこそ無事に開催することができました。

今回は料理教室でしたが「こんなことをしてみたらどうだろう」「こんな事なら協力できるよ」など、皆様のご提案・ご意見があればぜひお気軽に声をかけてくださいね。

この1年の活動でお世話になった方々に感謝するとともに、今後もさらに活性化の協力ができるよう頑張りますので、皆さんも一緒に南伊豆町を元気にしていきたいと思います!!

(隊員 松原)

お知らせ

きらりと光るまちづくり事業支援補助金 交付事業の公募について

町では、「協働のまちづくり」の一環として、平成27年度に地域振興、産業の活性化、社会福祉の向上等を目的とした公益的な事業を主催する住民団体に対して補助金（事業費の $\frac{1}{2}$ 以内、上限50万円）を交付します。

対象となる団体 次のすべてに該当する団体

- ①団体の代表者が本町の住民であること。
- ②団体構成員の3分の2以上の方が、本町に居住していること。
- ③団体の活動拠点が町内にあり、かつ、町内において継続的に活動を行っていること。
- ④営利団体でないこと。
- ⑤特定の政党もしくは政治団体または宗教等を支持する団体でないこと。

応募方法 補助金交付要望書（町のホームページまたは総務課で配布）に必要書類を添付して総務課に提出してください。

提出期限 5月11日（月）

*本事業に関する説明会を以下のとおり開催します。
日時 4月27日（月）10:00～ 場所 役場3階 会議室

問合せ 総務課 総務係 ☎62-6211

エイズ検査・肝炎 ウイルス検査日程

日程 毎月第4木曜日

日程			
4月	23日(木)	10月	21日(水)
5月	出張検査	11月	18日(水)
6月	25日(木)	12月	10日(木)
7月	23日(木)	1月	28日(木)
8月	19日(木)	2月	25日(木)
9月	16日(水)	3月	24日(木)

問診・採血 9:00～12:00

※要予約（前日16:00まで）

場所 賀茂保健所1階相談室

（下田総合庁舎別館1階）

結果通知 HIV・B型肝炎・梅毒
検査…当日14:00以降

C型肝炎検査…2週間後

その他

- ①検査は無料、HIV検査は匿名です。
- ②HIV検査は感染の心配のあった日から3か月後に受けてください。
- ③相談は随時受け付けています。

予約・問合せ

賀茂保健所 地域医療課

☎24-2051

楽しくフィットネス 参加者募集

ストレッチマシンを用いた運動教室です。脚力の向上や関節の柔軟性を回復させ、転倒予防の効果や腰痛、肩こりの改善にも役立ちます。若々しい体づくりにチャレンジしてみませんか？

日時 5月8日～7月31日

毎週水・金曜日

①9:30～11:00 ②10:30～12:00

場所 武道館

内容 4種類のマシンを使用した全身のストレッチ、介護予防を目的とした運動

対象者 65歳以上で医師から運動を制限されていない方（要支援・介護認定を受けている方を除く）

定員 20人（各時間10人）

参加費 3,000円

募集締切 4月20日（月）※先着順

問合せ

地域包括支援センター(健康福祉課内)

☎62-6233

キレイ塾 参加者募集

町では、皆さんの健康へのお手伝いとして、健康講座を開催します。

日程			
5月	12日(火)	11月	10日(火)
6月	9日(火)	12月	8日(火)
7月	14日(火)	1月	12日(火)
9月	8日(火)	2月	9日(火)
10月	13日(火)	3月	8日(火)

時間 9:30～13:00（受付 9:15）

場所 役場 湯けむりホール

内容 生活習慣病予防等の講話・調理実習、グループワーク、体力測定等

対象者 70歳未満で南伊豆町に住民票のある方（原則全ての講座に参加できる方）

定員 20人（初めて受講する方優先）

持ち物 筆記用具、エプロン、手拭用タオル

参加費 1回400円

募集期間 4月10日(金)～24日(金)

問合せ 健康福祉課 健康係

☎62-6233

骨髄バンクドナー登録 のお願い

骨髄バンクドナー登録とは、白血病などの患者さんを救う「骨髄移植」や「末梢血幹細胞移植」のためのドナー（提供者）登録制度です。保健所では登録のための説明と、白血球型を調べるための採血を行っています。

検査日時 毎月1回（エイズ検査・肝炎ウイルス検査日程と同日実施）
9:00～12:00※要予約(前日16:00まで)

場所 賀茂保健所1階相談室

対象 18歳～54歳（男性45kg以上、女性40kg以上）の方

予約・問合せ

賀茂保健所 地域医療課

☎24-2051

SNSの使い方に気をつけて！

中高生を中心に多くの子どもたちがスマートフォンを持ち、SNS（LINE・Twitter・Facebookなど）を利用していると思います。

気軽に複数の人とメッセージのやりとりができて便利な反面、LINEのグループトークなどによる「既読スルー」をきっかけにしたいじめやネット依存、写真流出による被害、ネットを通じて知り合った人と会ってしまい犯罪に巻き込まれてしまうケースなどが増えていることも忘れてはいけません。ご家庭でインターネットのルールを作るなど、話し合いの場を持ちましょう。

～インターネットのルール（例）～

- ・使用時間を決める（スマホ依存防止）
- ・悪口など相手が嫌な思いをする書き込みをしない（いじめ防止）
- ・ネットで知り合った人と直接会わない（犯罪防止）
- ・安易に顔写真や個人情報を載せない

問合せ 下田警察署管内防犯協会 ☎27-2766

いつでもどこでもミニ集会

梅本町長が、町民の皆さまのところに夜間、休日を問わずに日程が合えば出向いて、ミニ集会を開催します。

開催を希望する場合は、希望する日の2週間前までに企画調整課まで申し込みを行ってください。

問合せ 企画調整課 ☎62-6288

姉妹都市だより 長野県塩尻市



湖畔を彩る水芭蕉

南伊豆町の皆さんこんにちは。今回は、これから見ごろを迎える、みどり湖の湖畔に咲く水芭蕉をご紹介します。

信濃川水系の最上流部に位置し、緑に囲まれた塩尻市の「みどり湖」。湖畔は公園として整備され、四季折々の花が楽しめ、市民の憩いの場として親しまれています。公園の春の見どころは、水芭蕉です。

4月上旬から約1か月間、公園の一角の約1200㎡の敷地に「みどり湖水芭蕉の会」の皆さんによって株分けされた約3,700株の水芭蕉が咲き誇り、可憐な花群を楽し

むことができます。また、4月12日（日）に開催する「みどり湖水芭蕉まつり」は、多くの見物客でにぎわいます。お近くにお寄りの際は、塩尻に春の訪れを告げる水芭蕉をぜひご覧ください。

☎ 塩尻市ブランド観光課

☎0263-54-2001



4月は、固定資産税、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。

戸籍の窓

結婚お幸せに

地区	お名前（旧姓）	婚姻日
石廊崎	小澤篤史・智子（石垣）	2.7
大瀬	山本吉成・沙季（渡邊）	2.12
毛倉野	正司陽麻・みのり（早乙女）	2.18
伊浜	地引隆二・葉（高橋）	2.28

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
石廊崎	熊澤 傳	66	2.1
川合野	山田 富江	87	2.2
石廊崎	小澤 時子	93	2.3
上賀茂	宇田 志づ	94	2.5
青野	大野 正哉	81	2.7
大瀬	菊池 幸恵	84	2.8
湊	山田 和子	88	2.12
西子浦	小久保常子	84	2.13
市之瀬	佐藤タマヨ	74	2.13
湊	長池潤一郎	83	2.15
湊	木下 亘	88	2.24
青野	成田 亨	73	2.24
中木	萩原みさ江	88	2.25
蛇石	鈴木 孝一	84	2.27

平成27年2月1日から2月28日までに届出のあったもの（敬称略）

人の動き

（3月1日現在）

世帯数 3,961世帯

人口 8,884人（-17）

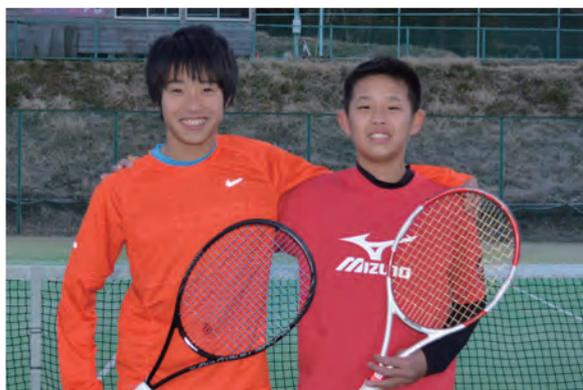
男 4,228人 女 4,656人

-----（2月中）-----

転入 16 転出 16

出生 0 死亡 17

※住民基本台帳法の改正（平成24年7月9日）により、外国人も含まれています。



加藤博夢さん(左) 高木凌さん(右)

まちの人

目指せ！将来のテニス世界チャンピオン！

加藤 ^{ひろむ}博夢さん (南伊豆東中2年生)

高木 ^{りょう}凌さん (南伊豆中1年生)

2月に開催された第1回JPTAオール・ジャパン・ジュニア・テニス・トーナメントで、U-14クラス優勝の加藤さん、U-12クラスベスト8の高木さんのテニス生活について話を伺いました。

2人がテニスを始めたのは、加藤さんが幼稚園の年長、高木さんが小学校2年生頃から。小さい頃から良きライバルとして、お互いに刺激を受け、また与える存在として日々の厳しい練習に励んでいます。

数年前にテニス留学で渡米した2人。親元を離れ、異国での生活に最初は不安もありましたが、帰国する時には体力面、精神面、語学力のレベルアップが

でき、今後の自信に繋がる貴重な経験だったと語ってくれました。

今後の目標について、加藤さんは「海外の試合をたくさんまわり、優勝したい」、高木さんは「日本チャンピオンになり、最終的には世界で1位になる！」とさらなる向上を誓ってくれた2人。輝かしい未来への挑戦が、大いに期待されます。

健康一口メモ

胃がん・肺がん検診受診で早期発見を！

がんによる死亡者数は平成25年度で、約36万人にもものぼっています。死亡者数をもっとも多い部位は1位が肺、2位が胃となっています。この二つのがんは、特有の自覚症状がありません。

定期的に検診を受診することで早期発見につながります。早期発見ができれば、完治する確率は90%以上にもなります。

年に1度は胃がん・肺がん検診を受け、自分の健康を確かめましょう。



※町では、4月2日～27日まで各地区において胃がん・肺がん検診を実施しています。詳細については健康福祉課にお問い合わせください。

問合せ 健康福祉課 ☎62-6233

スマイルキッズ



石井 土屋 ^{ゆうま}友悠真くん (1歳6か月)

「おせんべいと乗り物が大好き！
みんなよろしくね！」

広報みなみいず 4月号

発行日／平成27年4月1日
発行／南伊豆町 編集／企画調整課 印刷／㈱栄協
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

編集後記

卒業・入学、就職・退職など、多くの方が人生の節目を迎えられたことと思います。4月からは心機一転！気持ちを新たに頑張っていきましょう！



広報みなみいずは、再生紙を利用しています。